

世界に翔く宮崎牛

1997年11月号

No.20



(左上) 第49回宮崎県畜産共進会開会式風景
(左下) 肉牛枝肉部門のグランドチャンピオンに輝いた宮崎市の尾崎宗春さん

(右上) 肉用種雄牛の部でグランドチャンピオンに輝いた山之口町の上田孝雄さんと「なおの45」号
(右下) グランドチャンピオンの枝肉

11月号目次

JA 綾町がキャトルステーションで《天皇賞》を受賞 (畜産会)	2
今月のトピックス (県畜産課)	3、6
和牛繁殖農家の特別表彰 (家畜登録協会)	4
家畜改良事業団に低コスト木造牛舎が完成! (家畜改良事業団)	5
全国お肉自慢フェアについての報告 (経済連)	6
宮崎牛専門焼肉レストラン「APAS」オープン!! (経済連)	7

JA綾町がキャトルステーションで《天皇賞》を受賞

10月22日、農林水産祭中央審査委員会が開催され、農林水産業者・団体の最高の荣誉である本年度農林水産祭の天皇賞は、畜産部門で宮崎県のJA綾町（代表 青山辰男）に授与されることが決定した。これは、本年度農林水産祭参加行事（373件）において農林水産大臣賞を受賞した者（596点）のなかで、最も優れた事例として評価されたものである。本県においては、昭和46年、当時の児湯酪農協が乳質日本一で受賞して以来、26年ぶりの快挙である。

表彰は、勤労感謝の日の11月23日、東京 明治神宮会館で行われ、1月下旬には天皇・皇后陛下下拝謁も予定されている。

JA綾町は、平成9年1月開催された全国肉用牛経営発表大会において、「有機農業を支えるキャトルステーション」と題する肉用牛生産支援システムを発表し、高齢化に対応して、地域全体の組織的取組みで肉用牛生産を支える活動として絶賛をあげ、最優秀賞となり農林水産大臣賞を受けた。

「キャトルステーション」は、共同哺育育成施設（繁殖農家で生産された子牛を3カ月齢以上からセリ市場出荷の10カ月齢まで預託育成する）と肥育施設（哺育育成子牛の施設内保留や郡内で生産された子牛を買い上げ肥育して、子牛価格の下支えと枝肉成績のフィードバックをする）の二施設からなっている。このシステムにより、繁殖農家の哺育育成を外部化することで労働の軽減が図られると同時に、繁殖雌牛の規模拡大が可能となる。また、「キャトルステーション」での集団哺育育成による適切な飼養管理によって発育にバラツキがなくなり、購買者からも高い評価を受けている。

綾町は有機農業の町として知られるが、「キャトルステーション」は有機農業を支える役割も担っている。「キャトルステーション」と養豚団地（約1,500頭）から排出される糞尿はJA綾町堆肥センターで堆肥化され、家庭生ゴミを処理する町の堆肥センターの堆肥とともに、約460戸の耕種農家に供給されている。

JA綾町管内の肉用牛生産は、「キャトルステーション」システムによって新たな展開をみせているが、東諸県郡内全体で進められている東諸県郡肉用牛肥育対策事業やアニマルモデル事業及び授精卵移植事業などの新技術活用体制の充実とともに、さらに大きな成果がもたらされるものと期待される。

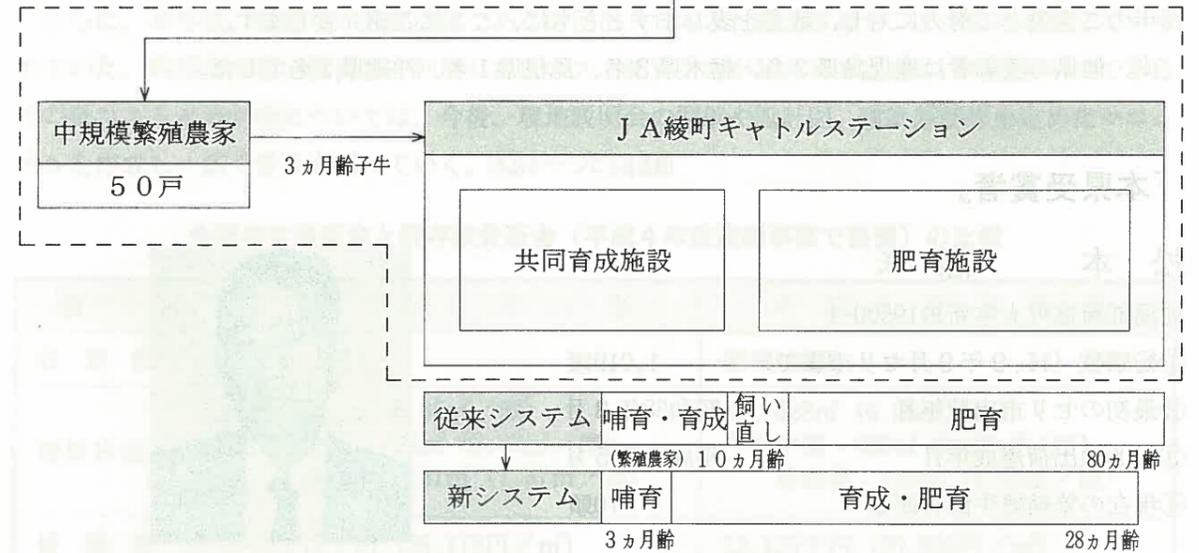
全国的に肉用牛生産者の高齢化が進み、肉用牛生産基盤の脆弱化が危惧される中で、農林水産省では、JA綾町の「キャトルステーション」システムは、組織による肉用牛生産の機能分担を図ることによって、肉用牛飼養農家の廃業をくい止めたり、規模拡大を容易にするなど肉用牛生産基盤強化の効果が著しいと高く評価されており、同様のシステムを全国的に普及する必要があるとの考えから、平成10年度の新規補助事業として予算化を進めているとのことである。

飼養規模別農家戸数

(単位：戸、頭)

区分	1～4	5～9	10～19	20～	計	頭数	頭/戸
綾町	79	32	17	14	142	1,151	8.1
うち契約農家	22	17	9	10	58	617	10.6

※平成9年3月31日現在



キャトルステーションフローチャート

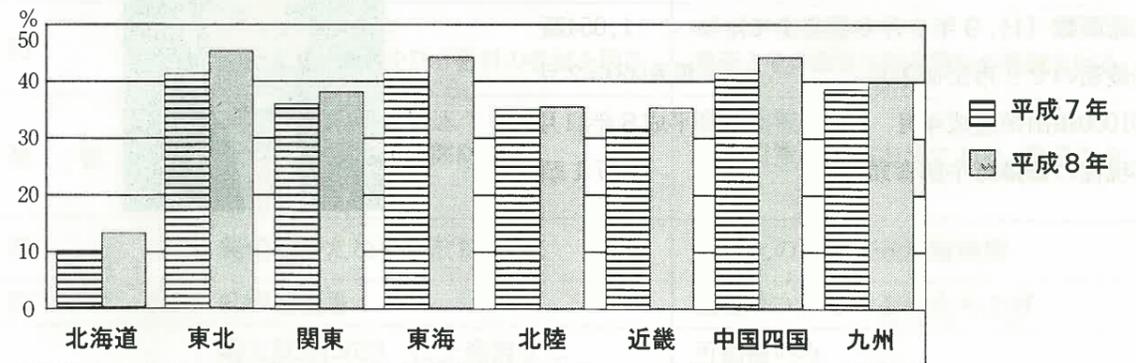
今月のトピックス

◎交雑種（F1）の生産が増加、九州での生産は4割程度

（社）日本家畜人工授精師協会の調べによると、平成8年に人工授精された乳用牛のうち、黒毛和種の精液を用いた割合は全国平均で30.5%となりました。これは平成7年（28.1%）に比べ2.4ポイント上昇しており、和牛と乳牛の交雑種（F1）の生産が増加傾向にあることを伺わせます。

地域ごとにみると、特に東北、東海、中国四国での割合が高くなっています。九州でも平成8年は40.2%と前年に比べ1.5ポイントの上昇となりました。

乳用牛に占める黒毛和種授精牛の割合



資料：（社）日本家畜人工授精師協会調べ

和牛繁殖農家の特別表彰

先般開催された第7回全共の付帯事業として、全国の和牛農家で1個人が子牛市場に累計1000頭以上出荷された農家を対象とした特別表彰が行われました。

対象者は全国で11名あり、宮崎県からは3名の方々が受賞されました。

長年のご苦勞とご努力に対し、敬意を表しますとともに、ここにご紹介致します。

尚、他県の表彰者は鹿児島県3名、栃木県3名、島根県1名、沖縄県1名でした。

「本県受賞者」

松本 愿 氏

児湯郡新富町大字新田19500-1

- ①総頭数 (H. 9 年9月セリ市まで) 1,019頭
- ②最初のセリ市出荷年月 昭和38年3月
- ③1000頭出荷達成年月 平成9年5月
- ④現在の繁殖雌牛飼育頭数 70頭



小坂 邦男 氏

西諸県郡野尻町大字三ヶ野山818

- ①総頭数 (H. 9 年9月セリ市まで) 1,037頭
- ②最初のセリ市出荷年月 昭和35年4月
- ③1000頭出荷達成年月 平成8年4月
- ④現在の繁殖雌牛飼育頭数 36頭



河野 秀一 氏

南那珂郡南郷町榎原丙689

- ①総頭数 (H. 9 年9月セリ市まで) 1,054頭
- ②最初のセリ市出荷年月 昭和48年2月
- ③1000頭出荷達成年月 平成8年11月
- ④現在の繁殖雌牛飼育頭数 71頭



「家畜改良事業団に低コスト木造牛舎が完成」

畜産の低コスト生産・経営の安定を図るには畜舎建設コストの低減が重要な課題であり、県内でも鉄骨や木造による種々の低コスト牛舎の建設取り組みがなされている。

家畜改良事業団では、すでに、平成4年度低コスト肉用牛モデル施設開発事業（畜産活性化総合対策事業）によって収容能力110頭の肥育牛舎（鉄骨）を建設し、利用・展示を行っている。

さらに、本年度、林野庁の外郭団体である財団法人日本木材総合情報センターが当事業団ですすめていた、利用度の低い間伐材を利用した低コスト肥育牛舎が10月15日完成し、現在展示中である。この低コスト木造牛舎については、今後、現地説明会の開催や設計図、建築基準等を定めたマニュアルを作成し、広く普及を図っていく。(本誌8ページ写真掲載)

今回の木造畜舎と既存鉄骨畜舎（平成4年度畜総事業で整備）の比較

項 目	既 存 牛 舎	今 回 の 新 築 牛 舎
収 容 能 力	肥育110頭	肥育100頭
建 築 床 面 積 等	床：753㎡ (6.85㎡/頭) うち牛房：602㎡ (5.47㎡/頭) 通路等：151㎡ (1.37㎡/頭)	床：628㎡ (6.28㎡/頭) うち牛房：480㎡ (4.80㎡/頭) 通路等：148㎡ (1.48㎡/頭)
建 築 費 等	19,712千円 (26,178円/㎡)	13,125千円 (20,900円/㎡)
構 造 主 体 材 質	鉄骨 除糞作業機の作業性確保のため柱間隔を決定。(3.7×7.4)	木造 除糞作業の作業性確保と木材規格の長さ4.0mを考え柱間隔を決定。(4.0×6.0)
母 屋	木材使用	木材使用 バタ角90×90を使用し、低コスト化を図る。
基 礎	鉄筋コンクリート独立基礎	ベタ基礎と一体化した布基礎
土 間	コンクリート厚 60mm/m 除糞作業に支障のないクラックは可とした。 路盤形成の為砂利厚100mm/m	コンクリート厚 60mm/m 同 左 現地盤締め固めを十分行なうことを前提に砂利厚60mm
防 湿	ポリシート張り 地面よりの湿気を防ぎ敷料の軽減を図る	ポリシート張り 地面よりの湿気を防ぎ敷料の軽減を図る
屋 根 材	畜産波板断熱材敷込 屋根軽量化及び結露防止	畜産波板 防暑対策は軒高を見ており、軽量化を重視
壁 材	軽量化のため畜産波板使用	軽量化のため畜産波板使用
防 蝕	柱脚部根巻	基礎コンクリートの立ち上げ
塗 装	錆止JISK5623 仕上塗装なし	可動柵のみ 錆止JISK5623 仕上塗装SOP 1回塗り

全国お肉自慢フェアについて (報告)

去る、9月11日～15日、岩手県で第7回全国和牛能力共進会が開催され、その中のイベントである全国お肉自慢フェアに、我が「宮崎牛」も堂々参加致しました。和牛自慢の約20道府県が参加する中、「宮崎牛が一番おいしい!」との評判で宮崎のみなさんからはもとより、全国各県の方々からお誉めの言葉をいただきました。

中でもオーストラリアから見えられた方は、宮崎牛のあまりの美味しさに感激して声も出ない様子。しまいには自分の事務所に飾りたいとのことで、大きな宮崎牛のポスターをもって帰られました。

全共会場入場者403,000人中、お肉自慢フェア会場入場者は69,832人にのびりました。共進会で全頭が優等賞となり、その内3部門では優等賞首席になるという宮崎県代表のすばらしい成績と宮崎牛の味がリンクして多くの人に宮崎牛の良さを印象づけることができました。

遠く、東北の地でのPR活動でありましたが、やはり和牛は九州、その中の宮崎は「安平」「福桜」を代表とする優秀な種牛を豊富にもつ大産地。宮崎牛の試食を待つおばちゃんが“宮崎の和牛を一度食べてみたかったのよ”と話しかけてくれたことが心に残りました。



会場風景



会場にて宮崎牛をPR

今月のトピックス

◎畜産の粗生産額が増加、しかし肉用牛は6億円の減少

先般、平成8年の宮崎県の農業粗生産額が、九州農政局統計情報事務所から公表されました。これによると、県内の農業粗生産額は米が123億円減少したことなどにより、前年に比べ101億円減少の3,365億円となりました。

畜産部門では、肉用牛が出荷頭数の減少により前年に比べ6億円減少したものの、豚は価格が堅調であったことから50億円の増加となり、また、ブロイラーも出荷羽数の増加から17億円増加し、畜産全体では62億円増加の1,704億円(3.8%増)となりました。この結果、全体の粗生産額に占める畜産の割合が再び5割を越えました。

平成8年農業粗生産額(宮崎県)

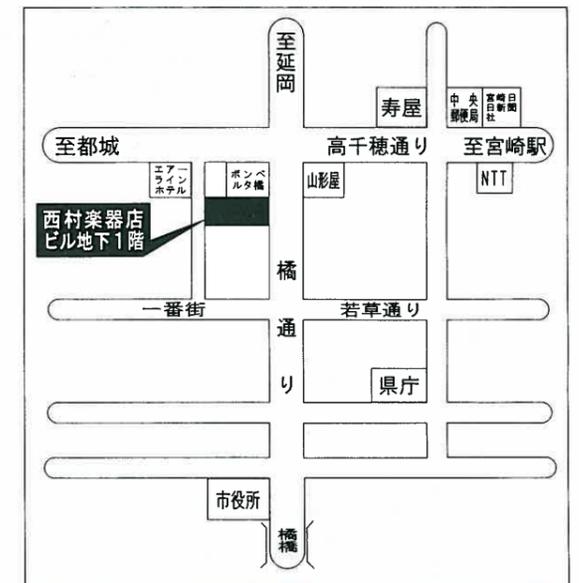
区 分	粗 生 産 額		対前年差	対前年 増減率	構 成 比	
	平8	7			平8	7
農 業 粗 生 産 額	億円 3,365	億円 3,466	億円 △101	% △ 2.9	% 100.0	% 100.0
耕 種 部 門	1,618	1,791	△173	△ 9.7	48.1	51.7
養 蚕 部 門	0	1	△ 1	—	0.0	0.0
畜 産 部 門	1,704	1,642	62	3.8	50.6	47.4
加 工 農 産 物 部 門	43	32	11	34.4	1.3	0.9

あばす 宮崎牛専門焼肉レストラン「APAS」オープン!!

宮崎市の中心部、3丁目の橋通りに面した西村楽器店ビル地下に宮崎ブランド確立の一環として、本物の宮崎牛の味を楽しんでいただくため宮崎牛専門の焼肉レストランがオープンします。

厳選された特選和牛肉を、気軽に食べていただけるような価格に設定しています。畜産農家のみなさん、是非一度足をお運びいただいて宮崎牛の味を楽しんでみられてはいかがでしょうか。(本誌8ページ完成イメージ掲載)

- オープン **11月28日** (予定)
- 場 所 橋通西3丁目
西村楽器店ビル地下1階 TEL 0985-31-8929
ヤキニク
- 席 数 112席 (和+洋)
- メニュー 宮崎牛の焼肉セット・単品が主体
ランチセット 800円より
ディナーセット 2,500円より
- 営業時間 11:00~15:00 (定休日: 第1・3月曜日)
17:00~22:00
12月は無休



あばす 宮崎牛専門店レストラン「APAS」オープン!! (本誌7ページ)



完成イメージ図

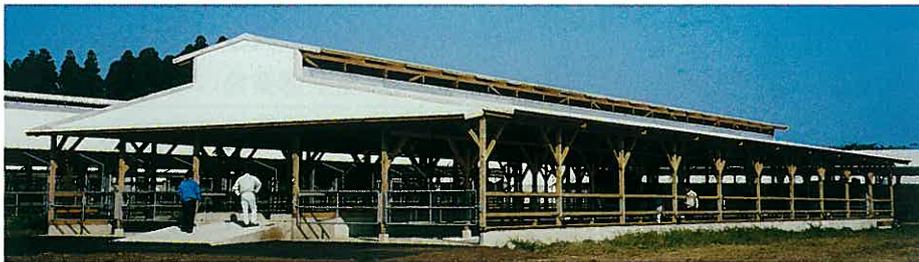
場所は
宮崎市橘通西3丁目
(西村楽器店ビル地下1階)
です。

店内はゆっくり
112席(和式+洋式)
あります。



店内イメージ図

家畜改良事業団に低コスト木造牛舎完成 (本誌5ページ)



牛舎全景



飼槽(幅85cm)



牛舎内部構造(通路幅は2m×40m)

発行所

宮崎県畜産会
0985-24-2674